

北海道児童発達支援管理責任者研修 基礎研修 シラバス

日	時 間	内 容
一 日 目	9:30~11:00 (10分休憩)	【講義】サービス提供の基本①
	11:10~12:40	【講義・演習】インテーク基礎
	12:40~13:30	(お昼休み)
	13:30~15:00 (10分休憩)	【講義・演習】 アセスメント～プランニングの基本
	15:10~16:40 (10分休憩)	【講義・演習】 個別支援計画作成準備演習
	16:50~18:50	【講義・演習】プランニング基礎①
二 日 目	9:15~10:40 (10分休憩)	【講義・演習】プランニング基礎②
	10:50~12:25	【講義・演習】モニタリング基礎
	12:25~13:15	(お昼休み)
	13:15~15:00 (10分休憩)	【演習】モニタリング演習
	15:10~17:25	【講義・演習】サービス提供の基本②
	17:25~17:40	修了式

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供の基本①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義①支援提供の基本的な考え方 講義②支援提供のプロセス 講義③障害児支援利用計画と個別支援計画の関係
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世、明河さち、金子志、 木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、 林範行、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・本人主体の重要性を理解する ・支援提供プロセスの全体像を理解する ・障害児支援利用計画、サービス担当者会議の役割や位置づけを理解する
○	8 教科の概要	事例の当事者の発信を通じて本人ニーズを理解することの重要性を学びます。支援提供プロセスの一連の流れを理解し、そのスタートであるサービス担当者会議のデモンストレーションを見ることで相談支援専門員との連携のイメージや障害児支援利用計画の役割を理解します。
○	9 授業方法	当事者の発信を聞くことやデモンストレーションを見ることを含めた講義
○	10 授業計画	支援提供の基本的な考え方の確認、関連法の目的確認、当事者の声（30分） 支援提供プロセスの確認（30分） サービス担当者会議を理解する（30分）
	11 準備学習	事例資料の読み込み及びニーズの整理マップの作成
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	インテーク基礎
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②支援提供のプロセス 講義③障害児支援利用計画等と個別支援計画の関係 演習①個別支援計画の作成
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世、明河さち、金子志、 木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、 林範行、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ 障害児支援利用計画の意味と記載内容を個別支援計画に活用するイメージを持つことができる ・ 初期情報をもとにサービス利用のニーズをつかみ、個別支援計画作成の準備のポイントを理解する ・ 事業所におけるインテーク対応について理解する
○	8 教科の概要	事例の障害児支援利用計画の内容を相談支援専門員から説明を受け、意味や役割を理解します。その内容を受けて、事業所における受け入れ準備、インテーク対応について検討するとともに、制度の流れの理解をします。
○	9 授業方法	講義と演習の組み合わせ
○	10 授業計画	障害児支援利用計画の説明（15分） 事業所ミーティング演習（30分） インテーク対応のポイント（30分） 制度説明（15分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	アセスメント～プランニングの基本
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②支援提供のプロセス 講義③障害児支援利用計画と個別支援計画の関係 講義④支援提供における利用者主体のアセスメント 演習①個別支援計画の作成
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世、明河さち、金子志、 木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、 林範行、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・ 本人主体の援助方針、目標の立て方を実践的に学ぶ ・ 事業所におけるアセスメントのポイント、支援の特徴などを学び、幅広くサービスの役割や位置づけを理解する
○	8 教科の概要	事例を用いて、サービス利用スタート時の状況や当事者の気持ちや立場を理解し、本人主体の個別支援計画の作成の手順やポイントを総合的な援助方針及び目標を作成することで学びます。また、多様なサービス事業の現場におけるアセスメント、プランニングのコツやポイントを事業の特徴を含めて学びます。
○	9 授業方法	講義と演習の組み合わせ
○	10 授業計画	制度、支援提供プロセスの説明 (20分) 個別支援計画の作成演習 (40分) 多様な事業からみたアセスメントの視点[シンポジウム] (30分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。  
複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援計画作成準備演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②支援提供のプロセス 講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順 演習①個別支援計画の作成
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世、明河さち、金子志、 木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、 林範行、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人主体を意識して個別支援計画を作成するプロセス、ポイントを理解する</li> <li>・ ニーズや状況をとらえた表現で個別支援計画の原案を作成することができる</li> <li>・ グループで協力し合いながら個別支援計画作成のプロセスを共有することができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	事例の本人の思いや背景を意識して、わからないことは確認しながら個別支援計画原案の作成作業を進めます。
○	9 授業方法	講義と演習の組み合わせ
○	10 授業計画	支援提供プロセスの確認と個別支援計画作成のポイント (20分) 個別支援計画の原案作成演習 (70分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。  
複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	プランニング基礎①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義④支援提供における利用者主体のアセスメント 講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順 演習①個別支援計画の作成
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世、明河さち、金子志、 木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、 林範行、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務に即して本人主体の重要性を再確認する</li> <li>・具体的な作成作業を通じて法の趣旨や理念に即した個別支援計画作成のポイントを理解する</li> <li>・様々な事業における個別支援計画作成のポイントやコツを聞くことで普遍性や個別性について理解する</li> </ul>
○	8 教科の概要	個人ワークやグループワークを通じて作成してきた個別支援計画原案を改めて見直すことで、本人主体の視点や計画への取り入れ方などを具体的に学びます。また、実際の現場において工夫していることや意識していること、取り入れている具体的な方法を現任者から聞きます。
○	9 授業方法	講義と演習の組み合わせ
○	10 授業計画	本人主体の視点を個別支援計画に取り入れる視点と手法についての講義 (30分) 個別支援計画作成演習 (60分) 多様な事業からみたプランニングの視点[シンポジウム] (30分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	プランニング基礎②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②支援提供のプロセス 演習①個別支援計画の作成
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	85分
○	7 到達目標	・他者の意見や視点を個別支援計画作成のプロセスに取り入れることができる ・自分の支援の視点の傾向やくせ、スキルに気づき、課題やストレングスを振り返り、支援プロセスに取り入れることができる
○	8 教科の概要	前日取り組んだ一連の支援提供プロセスの流れを理解し、グループで意見交換することにより個別支援計画の作成の作業を通じて自分自身の支援観や支援スキルを見直します。個別支援計画原案作成の仕上げを行います。
○	9 授業方法	講義と演習の組み合わせ
○	10 授業計画	支援提供のプロセスについての講義（15分） 個別支援計画作成についての演習（70分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	モニタリング基礎
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②支援提供のプロセス 講義③障害児支援利用計画と個別支援計画の関係 講義④支援提供における利用者主体のアセスメント 演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）および記録方法
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世、明河さち、金子志、 木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、 林範行、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	95分
○	7 到達目標	・個別支援計画の質を評価する視点や観点を理解する ・多様な事業の現場における個別支援計画の固有性を理解すると同時に普遍的な視点について理解する ・モニタリングの意義や役割、必要な視点を理解する ・相談支援におけるモニタリングを理解する
○	8 教科の概要	個別支援計画作成の目的を再確認するため、現場における個別支援計画作成～サービス提供の実際の流れを現任者の話を聞くことで理解を深めます。 また、計画作成後の利用～モニタリングの流れを講義とグループワークで理解します。
○	9 授業方法	講義と演習の組み合わせ
○	10 授業計画	多様な事業からみたサービス提供の視点[シンポジウム] (30分) モニタリングについての講義 (25分) 事例のモニタリングについての演習 (40分)
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること



必須項目	項目	内容
○	1 教科名	モニタリング演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）および記録方法
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	105分
○	7 到達目標	・当事者の特性や個性を理解し、意見や声、思いを引き出すやりとりやコミュニケーションの重要性やポイントを理解し、実践に取り入れることができる ・モニタリングの意義や役割を理解し、モニタリング記録を作成することができる
○	8 教科の概要	事例に即し支援提供後の状況をイメージしたうえで、本人の様子や意見、満足度を評価すると同時に本人のアセスメントを深めるやりとりを行います。モデル事例のモニタリングを通して、モニタリングの結果をグループワークで検討し、整理し、計画の見直しにつなげます。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	質問によるモニタリング演習（60分） グループワークによるモニタリング結果のまとめ（45分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供の基本②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義①支援提供の基本的な考え方 講義④支援提供における利用者主体のアセスメント 講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順 演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）および記録方法
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世、明河さち、金子志、 木田祥平、佐々木尚子、佐藤忠峰、 林範行、米谷雅子
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	125分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別支援計画の修正の視点と具体的な方法を理解する</li> <li>・ 多様な現場における児童発達支援管理責任者に重要な視点を学び、自らの現場に持ち帰る具体的な事項を整理する</li> <li>・ 支援提供のプロセス全体を理解し、児童発達支援管理責任者の業務内容の一つである個別支援計画作成の意義やコストを言語化することができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	<p>事例に基づき、モニタリング結果をもとに個別支援計画の修正作業を行います。支援提供全体について現任者の話を聞くことで理解を深め、演習を振り返ります。</p> <p>現場に持ち帰るための学びを整理し、これまでの現場経験も活かしながら、言語化します。</p>
○	9 授業方法	講義と演習の組み合わせ
○	10 授業計画	修正プランの視点のグループ討議（35分） 多様な事業からみたサービス提供の視点[シンポジウム]（60分） まとめの講義と振り返り（40分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) 「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること